

図書だより

秋の読書月間まとめ 2024年 12月



みなさん、秋の読書月間はいかがでしたか？
お気に入りの本は見つかりましたか？
本との関わり方に変化はありましたか？
秋の読書月間は終了しましたが、これからも本に親しんでください。
今回は秋の読書月間のまとめとして、紹介していただいた本の紹介を載せたいと思います。

**スタンプラリーは来年3月まで続けます！
景品もまだまだありますのでぜひ参加してくださいね！**

参加してね！スタンプラリー

参加方法

借りた冊数分のスタンプを押してもらってください。
10 個貯まったら先生のところへ持ってきてください。
好きな景品と交換します。

1冊でも借りたらもらえるプレゼントもあります。

- ①しおり
- ③ブックカバー ※数に限りがあるのでお早めに♪
- ④豆本



↑スタンプラリー用紙



<おすすめの本を紹介します♪>

図書委員さん

書いていただいた紹介文をそのまま掲載させていただきます



『聲の形』 大今良時／講談社

この本は、耳が聞こえない少女(西宮硝子)と、
かつて彼女をいじめていた少年(石田将也)が
過去と向き合い周囲の人々との関係を見つめ
直していく青春ストーリーになっています。
(2年図書委員)



『みえるとかみえないとか』 ヨシタケシンスケ／アリス館

この本は、色々な星の人たちの「あたりまえ」を描いた物語です。
人によって「あたりまえ」がちがう世界でお互いを認めることが大切だと思いました。
(2年図書委員)



『神様の子守はじめました。』 霜月りつ／コスミック出版

とっても読みやすいです。どの表紙も内容にあった絵でかわいいです。神子たちの
成長と梓の頑張りがわかる本です。(3年図書委員)



『100日間、あふれるほどの「好き」を教えてください。』

永良サチ／スターツ出版

この本は、感動する一冊です。病気をもらった女子高生が余命宣告を受けた次の日に
出会った男子高生との Love ストーリーです。号泣まちがいない本をぜひ読んでみ
てください。(3年図書委員)



『本と鍵の季節』 米澤穂信／集英社

図書館から始まるミステリーを図書委員の二人が挑む。親友でも友達でもない不思議
の関係の二人だからこそ生まれる、ちょっと怖くておもしろい物語。
(3年図書委員)



『選ばれる女におなりなさい』 ラトナ・サリ・デヴィ・スカルノ／講談社

この本は恋に悩むどころか恋の出だしでつまずいていらっしゃる女性のみなさまに
読んでいただきたい本です。人生において大切な内容がたくさんあるので、
結婚したい人はぜひ読んでみてください。(3年図書委員)



『5秒後に意外な結末 ～パンドラの赤い箱～』 桃戸ハル／Gakken

100話のお話を「意外!!」と思ってしまう。おもしろい話がたくさんこの1冊の本につ
まっています。ぜひ読んでみてください。他の 5 秒シリーズもいっぱいあります！
(2年図書委員)



『仏像のフシギ』 田中ひろみ／小学館

仏像についてあまり知らない人、知っている人も両方楽しく知識を学べる本。仏像
の彫刻、豆知識を知れるのでとても面白いです。(1年図書委員)



『藪の中』 芥川龍之介／講談社

この本は六つの物語が集まった本です。この本の物語の1つは、「羅生門」が入って
います。有名ですね。ホラー好きな人や意味が深い物語が好きな人は、ぜひ読ん
でみてください。(1年図書委員)



『さよならの向こう側』 清水晴木／マイクロマガジン社

この物語では人は亡くなった時、最後に一日だけ現世に戻って会いたい人に会える
時間が与えられます。これは五人が織りなす最後の時間。毎日を大切に生きようと思
わせてくれる作品です。(1年図書委員)

図書委員さんの続き



『人生はニャンとかなる！』 水野敬也／文響社
この本は、猫の可愛い写真と一緒に人生を楽しくできるような言葉が書いてあります。
(2年図書委員)



『ナミヤ雑貨店の奇蹟』 東野圭吾／角川書店
この本は、「ナミヤ雑貨店の奇蹟」という本です。この本は東野圭吾さんがつくった本で、章ごとに主人公がかわり、最終章では全て話がつながるとてもふしぎなかんじになります。一度よむとまたよみたくなる本なのでぜひ読んでみてください！
(1年図書委員)



『100万回生きたねこ』 佐野洋子／講談社
言葉通り、100万回ねこが生まれます。死にます！毎回死に方がちょっとあれです。とりあえず読んでくださいね。
(3年図書委員)

保護者のみなさん



『二番目の悪者』 林木林／小さい書房
「これが全て作り話だと言い切れるだろうか」こんな1文からこの話は始まります。現代はネットやSNSで様々な情報が手に入り、誰にでも簡単に拡散できる時代です。しかし、簡単にできるからこそその裏には危険も潜んでいる事を考えてほしいと思うのです。その事をこの本を通してもう一度考えてみませんか。
“あなたたちが二番目の悪者になってしまわないように”(いわいさん)

紹介した本はすべて貸し出しできます♪



『ツバキ文具店』 小川糸／幻冬舎文庫
この本は鎌倉で文具店を営むかたわら、手紙の代筆を請け負う鳩子が主人公の物語です。手紙というとどんな物を想像しますか？感謝の気持ち、お祝いの気持ち、恋する気持ちなど、色々な想いを届けるような物と思っていましたが、鳩子のもとにはとても風変わりな依頼ばかりがきます。そんな重い想いまで手紙で届けることができるのか？！と引き込まれてしまいます。また、手紙を書く紙や封筒、切手、使うペンなどもその内容にあったものを選ぶなど文房具にも興味がわきます。読み終わると誰かに手紙で書いてみたくなるような気持ちになります。ぜひ読んでみてください！
(M.Iさん)



『ハヤブサ消防団』 池井戸潤／集英社
中村倫也さん主演のテレビドラマにもなり、下仁田や富岡、甘楽がロケ地になりました。ドラマとは違う内容もあるので、テレビで見た人も見てない人も楽しめる本です。彩の正体は一体…。(ゆずままさん)



『「手紙屋」～僕の就職活動を変えた十通の手紙～』 喜多川泰／ディスカヴァー・トゥエンティワン
平凡な大学生がある日、書斎カフェで奇妙な広告とめぐりあう、「手紙屋」。たった10通の手紙のやりとりであらゆる夢を叶えてくれるという話。働くことの意味、真の成功とは？幸せな人生とは？明日をよりよく生きたい人へ贈る感動作。少しむずかしい内容かも知れませんが勉強を何のためにするのだろうか？という疑問などの答えが見つかるといいなと思います。(M.Kさん)

先生



『ブッタとシッタカブッタ』 小泉吉宏／MEDIA FACTORY
心の持ち方、ものの見方、考え方についてハッとさせられる本です。マンガと言葉で読みやすく、内容はとても深いです。



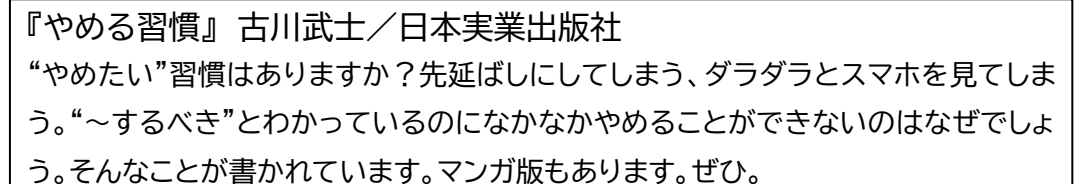
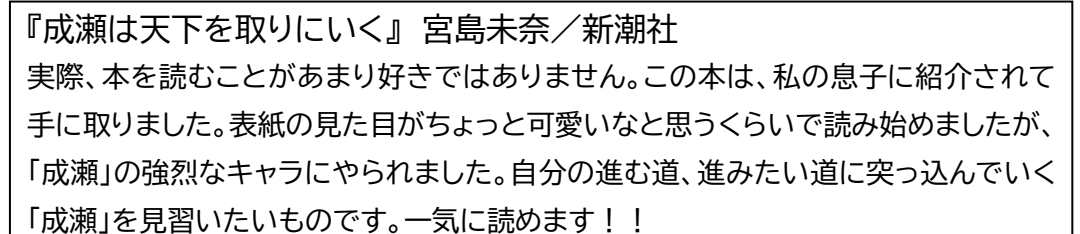
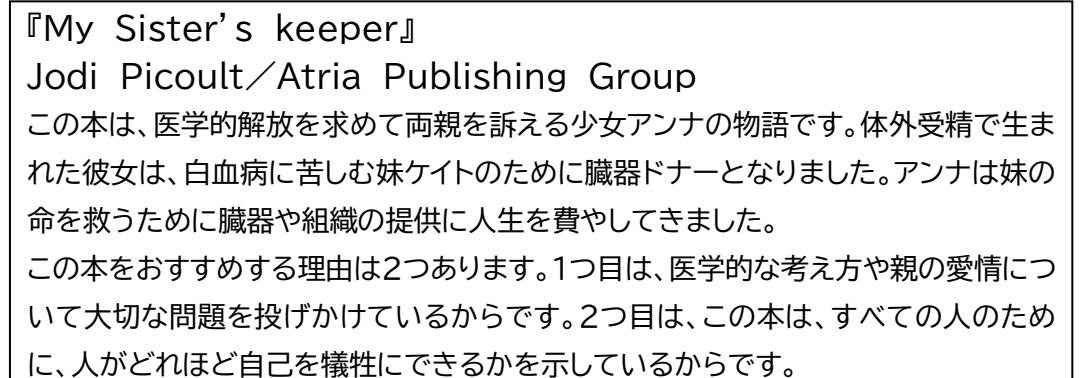
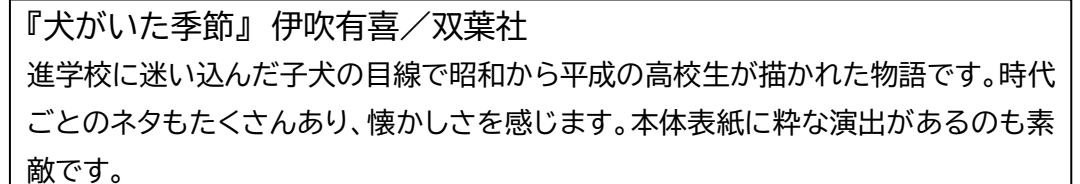
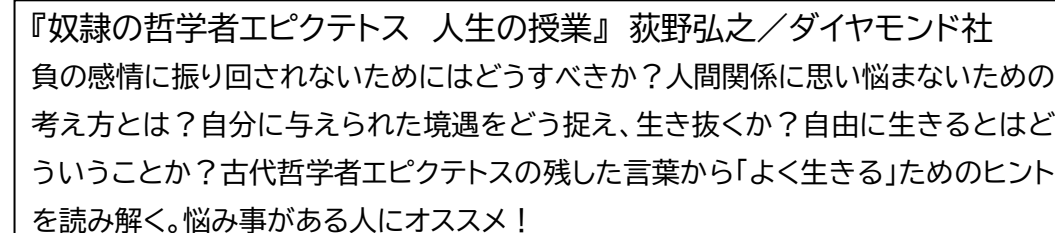
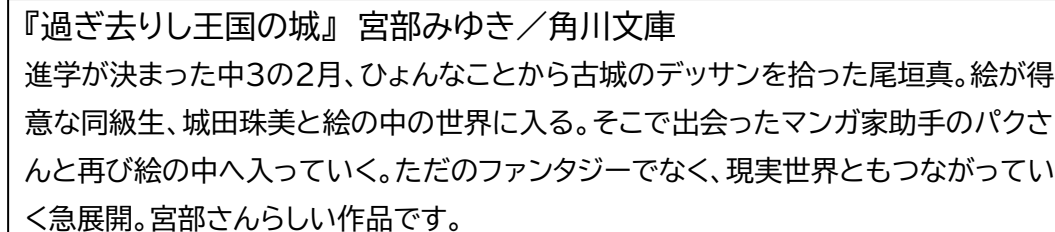
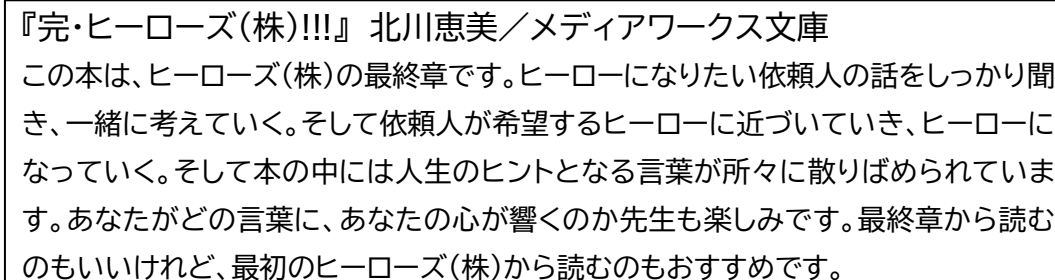
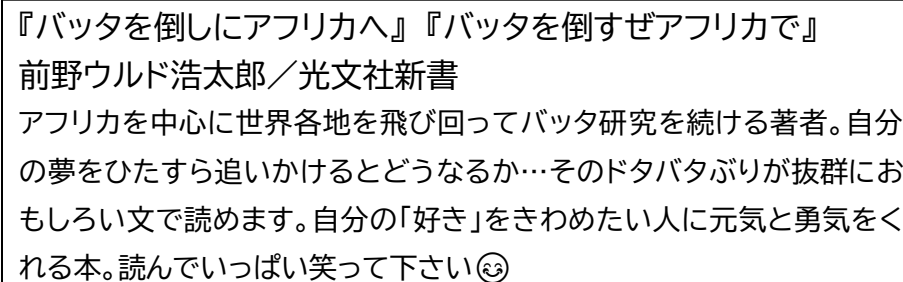
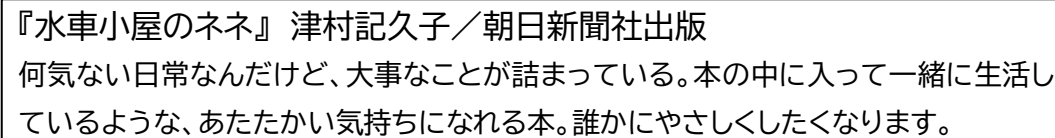
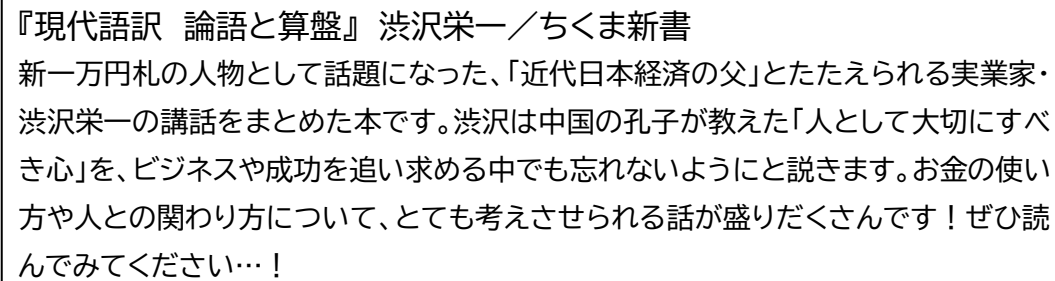
『神様のカルテ』 夏川草介／小学館文庫
主人公は青年内科医の栗原一止。信濃(長野県)にある本庄病院に勤務。この病院は「24時間365日対応」という休みのない所。そこで働くいちと先生は夏目漱石の「夢枕」を愛する文学医師。そんな「変人」いちと先生と患者をめぐる日々のあたたかなふれあいを感じられる。心がほっこりするようなお話。ぜひ読んでね！！シリーズで何冊か出ています。



『武士道シックスティーンシリーズ』 誉田哲也／文春文庫
剣道に自分の青春をぶつける2人の少女を主人公にした熱血ストーリー。友情か勝負か。自分がどこに進むのか悩みながら成長します。自分の生活の全てを剣道にささげる主人公がおもしろすぎる。そんな彼女のライバルにされるのは意外におとなしめのお気楽少女。2人の友情と剣道のシーンが最高です。ぜひ読んで!!



『数学ガール』 結城浩／CB Creative
内容は、高校数学についてです。中学生には理解が難しいところがあると思いますが、数学に興味がある方は読んでみると楽しいかもしれません。



読書をすることのメリットはたくさんあります。
 その中でも、これからの皆さんに必要な、語彙力、読解力、速読力、
 想像力を身につけることが期待できますよ。
 楽しみながら、自分を成長させてくれたり、癒やしてくれたり…。
 まさに「読書は心の栄養」です。
 ぜひ、読書の習慣を身につけましょう。

